

森岡地区拠点施設基本構想（案）

1 趣旨

東浦町公共施設再配置計画におけるモデル事業として位置付ける森岡地区拠点施設について、施設整備に向け、コンセプト、施設の基本的な考え方、導入機能等を検討する「森岡地区拠点施設基本構想」を策定するにあたり、広く皆様からの意見を募集します。

2 目的及び背景

〈目的〉

森岡地区拠点施設基本構想は、施設整備に向け、コンセプト、施設の基本的な考え方、導入機能等を検討するものです。

〈背景〉

東浦町が所有する公共施設の多くは、1970年代から1980年代にかけて集中的に建設されたものです。これらの公共施設は、現在では老朽化が進んでおり、今後一斉に更新時期を迎え、多額の費用が必要になることが見込まれます。

加えて、人口減少や少子高齢化による人口構造の変化等、社会環境が変化する中、財政状況も今後一層厳しくなる見通しであり、現在の公共施設を今後、そのまま維持することは非常に困難な状況下にあります。

このような背景を受け、本町では、2024年3月に東浦町公共施設再配置計画を策定し、施設ごとに現状の課題や今後のあり方を検討し、施設更新・複合化・集約化等の方向性を含む公共施設再編の基本的な方針を示しています。また、再配置計画では、森岡地区拠点施設を公共施設の再編を推進するにあたり先導的に取り組むモデル事業として位置付けています。

3 実施機関の考え方

東浦町公共施設再配置計画に基づく公共施設の再編を推進するにあたり、森岡地区の消防団分団詰所、保育園、児童館、コミュニティセンター、老人憩の家、ふれあいセンター及び小学校をできるだけまとめて拠点化することで、多世代交流や多機能化による利便性向上等の相乗効果を図るための効果的・効率的な複合コミュニティ施設の整備を検討することとしています。